

西区計画 (2016~2020)

~美しいまち西区 新しい田園都市をめざして~



平成 28 年 3 月 神戸市西区



2025 年(平成 37 年)の西区の将来像

『美しいまち西区 新しい田園都市をめざして』

西区の特色である自然に恵まれた緑豊かなまちなみを保ち、農村地域、ニュータウン、産業団地がそれぞれの魅力を活かし、相互の交流と連携を通じて、区民が安心して、健康に、共に暮らせるまちをめざします。

2020 年度までの取り組み

■ 西区計画とは

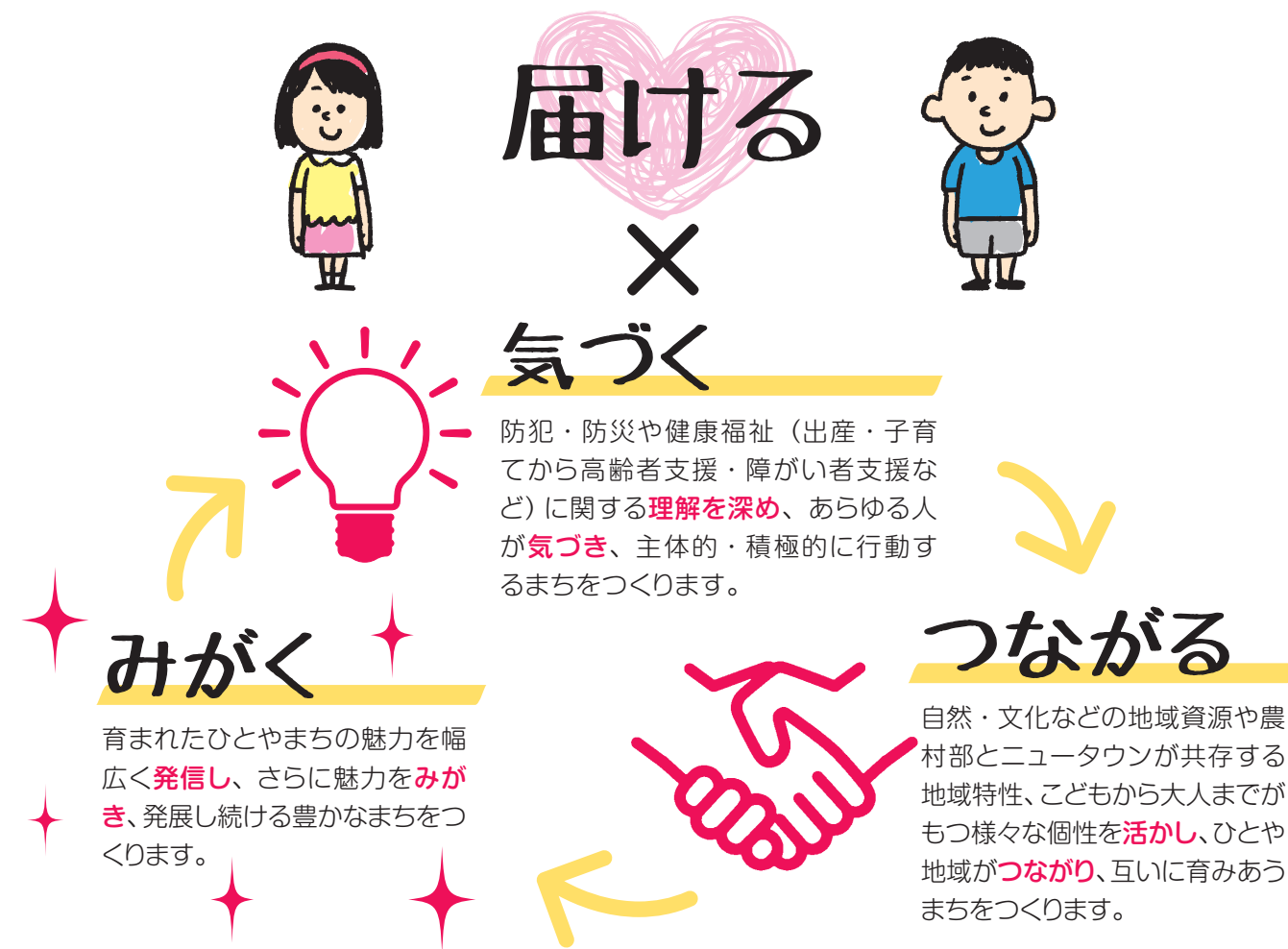
西区計画は、2025 年(平成 37 年)の将来像実現に向けて、2020 年度(平成 32 年)までの今後 5 か年のまちづくりの目標を区民と行政が共有し、ともに取り組んでいくための指針として、区民の生活に密着した分野を中心に、さまざまな地域の特性や魅力をのばす取り組みをまとめています。また、全市的な視点で策定される神戸 2020 ビジョンや部門別計画と連携して、まちづくりを進めていきます。

■ 取り組みの視点

『伝える』から『届ける』へ

一方的に伝えるのではなく、思いやりを持ち相手の関心・共感・声を引き出し、双方向のコミュニケーションを図ることでよりよいまちづくりを進めます。

視点《届ける》と 3 つのプロセス《気づく・つながる・みがく》



西区計画骨子

キーワード	まちの目標像	わがまちの姿	重点行動計画
安全・安心	地域住民のコミュニケーション、地域団体の連携を大切にするとともに、自己決定力の向上をはかることで、子どもから高齢者、障がい者など誰もが「安全・安心を実感できる」まちづくりに取り組みます。	1 みんながつくる安全で安心して暮らせるまち	①誰もが安心して暮らせる取組 ②災害に強いまちをつくる取組
健康・福祉	地域とともに自ら考え、行動し、子どもから大人まで誰もが「生き生きと元気に楽しく過ごせる」まちづくりに取り組みます。	2 あらゆる人に支援が行きわたるまち 3 暮らしや地域活動を楽しむまち	①子どもの健やかな成長を支える取組 ②誰もが心身とも健やかに暮らせる取組 ①つながりのある地域で暮らせる取組 ②気軽に地域活動に参加できる取組
交流・共生	自然や伝統など多彩な魅力を活かし、地域や世代を超えた交流を育むことで、「美しく活力のある」まちづくりに取り組みます。	4 あらゆる人がともにいきいきと過ごせるまち 5 自然とともにこころ豊かに暮らせるまち	①さまざまなつながりを生み出す取組 ②まちの魅力を守り育てる取組 ①自然や農に親しむ取組 ②居心地のよいまちをつくる取組

まちづくり指標

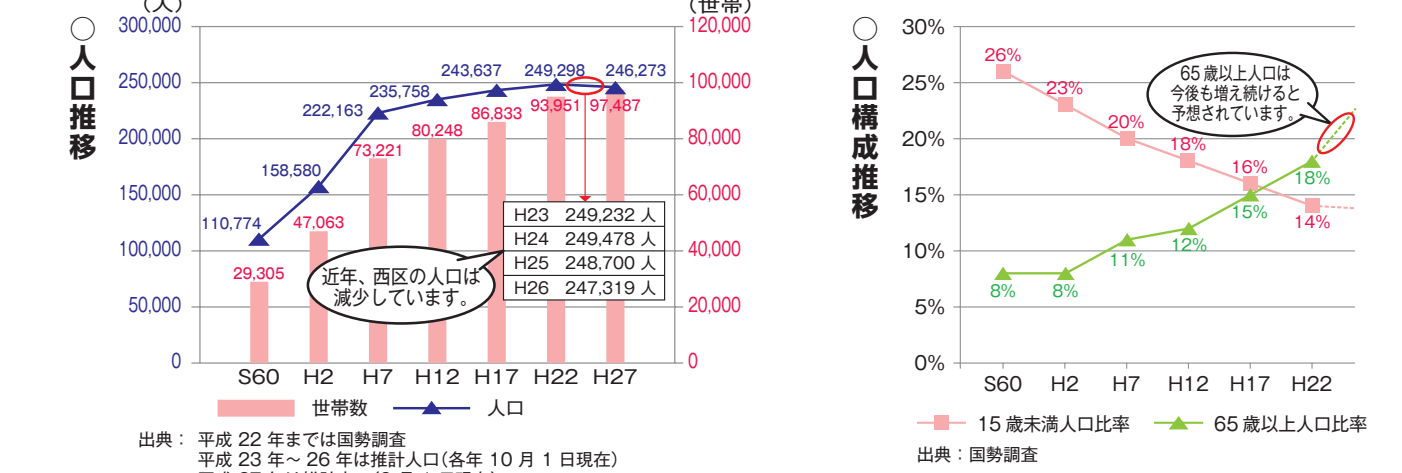
西区計画を実効性のあるものとするため、PDCAサイクルに基づき各事業の進捗状況について点検・評価や改善を行います。また、区民と行政がともにまちづくりに取り組んだ状況や成果を目に見えるかたちで共有するため、達成度を測るものさしであるまちづくり指標を設けます。

重点行動計画	まちづくり指標	現状値	目標値
①誰もが安心して暮らせる取組	「KOBE西 安全・あんしんネットワーク」メール配信システムの登録者数	6,793 人	12,000 人
②災害に強いまちをつくる取組	防災訓練の参加者数	13,624 人 / 年	16,000 人 / 年
①子どもの健やかな成長を支える取組	新生児訪問割合	89%	93%
②誰もが心身とも健やかに暮らせる取組	ヘルシーウォーキング手帳の発行数	300 冊 / 年	400 冊 / 年
①つながりのある地域で暮らせる取組	ひとり暮らし高齢者友愛訪問活動ボランティアグループ数	47 グループ	60 グループ
②気軽に地域活動に参加できる取組	ボランティア講座参加人数	184 人 / 年	300 人 / 年
①さまざまなつながりを生み出す取組	1年間で小学生が参加する地域活動・行事数	1.8 回 / 年	3.0 回 / 年
②まちの魅力を守り育てる取組	1日あたりの西区ホームページ(トップページ)のアクセス件数	330 件 / 日	400 件 / 日
①自然や農に親しむ取組	交流体験事業取り組み数	60 回 / 年	70 回 / 年
②居心地のよいまちをつくる取組	優良クリーンステーション及び取組み推進クリーンステーション認定箇所数	52 箇所	150 箇所

西区の現状

概要

西区は昭和57年8月1日に、伊川谷町、櫛谷町、押部谷町、玉津町、平野町、神出町、岩岡町の7町をもって、垂水区から分区し誕生しました。分区当時の人口は、9区の中で最も少ない約9万4千人でしたが、西神ニュータウン・学園都市・西神南ニュータウンなどの建設や、玉津町・伊川谷町・岩岡町における区画整理事業などによって、現在の人口は市内最多となっています。面積は138.01km²と北区に次いで市内9区中2番目の広さです。自然環境に恵まれた緑豊かな西区では、農業が盛んにおこなわれているのに加え、西神工業団地や神戸複合産業団地などの開発により、工業が産業に占める割合も大きくなってきています。また、学園都市を中心に6大学1高専が立地しているほか、神社仏閣や伝統芸能などの文化資源も多く有しており、「住み」「働き」「学び」「憩う」まちづくりが進められています。



すべて市内第1位!

*** 西区に関する主なデータ**

人口 246,273人
 世帯数 97,487世帯
 小学校児童数 14,521人
 中学校生徒数 7,597人
 農家人口 13,242人
 工業従業者数 19,367人

出典: 神戸市の推計人口(平成27年9月1日現在) 平成26年度版神戸市統計書

課題

社会的背景や西区計画(2011～2015)の検証評価、区民アンケートの結果から、課題を整理しました。

社会的背景	西区計画(2011～2015)検証評価	区民アンケート
<ul style="list-style-type: none"> 人口の減少 転出の超過 高齢化の進展 防犯意識の高まり 頻発する豪雨災害 東南海・南海地震 地域社会の希薄化 家族形態の多様化 福祉ニーズの多様化 人材の育成 マナーの低下 	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心 危機管理意識の啓発 健康・福祉 地域福祉活動の充実 交流・共生 情報発信機能の強化 <p>さらなるPR活動 相手に伝わる啓発活動</p>	<p>対象: 20歳以上の西区民 配布数: 3,000名 実施時期: 平成26年2月～3月</p> <p>今後のまちづくりに必要と思うもの 上位5項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が元気に生活するための支援及び生きがいづくり 41.0% 高齢者が在宅で安心して生活するための見守りなどの支援 40.9% 公共交通網の充実 38.6% 災害時における要援護者へのサポート体制の推進 36.6% 防災・防犯情報や災害情報の発信を強化 34.3%

策定経緯

策定にあたっては、西区区民まちづくり会議において議論し、とりまとめを行いました。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○平成26年 2月 区民アンケートの実施 ○平成26年 9月 区民まちづくり会議の開催 ・区民アンケート結果報告 ○平成26年12月 区民まちづくり会議の開催 ・策定方針の決定 ○平成27年 7月 区民まちづくり会議 3部会の開催 ・計画骨子と各事業の役割分担の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ○平成27年 7月 区民まちづくり会議の開催 ・計画骨子と各事業の役割分担の決定 ○平成27年 9月 区民まちづくり会議 3部会の開催 ・取り組みの視点と重点行動計画の検討 ○平成27年10月 区民まちづくり会議 ・まちづくり指標の検討、素案の確定 ○平成27年12月 パブリックコメントの実施 |
|---|---|

西区マスコットキャラクター

編集・発行
神戸市西区役所
〒651-2195 神戸市西区玉津町小山 180-3
☎(078)929-0001(代表) FAX(078)929-0030
http://www.city.kobe.lg.jp/nishi/
神戸市広報印刷物登録 平成27年度 第671号(広報印刷物規格A-1類)

City of Design
KOBE

Member of the UNESCO
Educational, Scientific and
Cultural Organization
Creative Cities Network
since 2008

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

神戸市はユネスコに認定されたデザイン都市です

重点行動計画

安全 安心

1 みんながつくる安全で安心して暮らせるまち

①誰もが安心して暮らせる取組

区民・事業者・行政の協働により地域の見守り活動を行い、まちの死角を減らしていきます。また、犯罪情報など安全安心に関する情報を多くの区民に提供する「KOBE西 安全・あんしんネットワーク」メール配信システムを活用し、情報の共有を図ります。新型インフルエンザなどの感染症に対しては、早期に探知し拡大を抑制するため、情報共有ネットワークの拡充を進め、健康危機管理体制の充実を図っていきます。

②災害に強いまちをつくる取組

近年、全国各地で頻りに発生している豪雨災害や近い将来発生が予想される東南海・南海大地震など様々な災害を、自らにふりかかる問題としてとらえ、防災意識の向上・啓発に努め、実践的な防災訓練の実施、各地区の避難所マニュアルの作成などにより、消防団や防災福祉コミュニティなどの自主防災力の向上を図ります。また、地域の高齢者や障がい者など、要援護者の情報を集約し、災害時に活用できる仕組みづくり（災害時一人も見逃さない運動）を進めます。



2 あらゆる人に支援が行きわたるまち

①子どもの健やかな成長を支える取組

地域社会の希薄化、核家族化、家族形態の多様化に起因する子育てへの不安や孤立感、負担感を解消し、安心して子どもを産み育てることができるような支援が求められています。妊娠・出産期からの切れ目のない支援を行うため、医療機関などとの連携、母子健康手帳交付時や新生児訪問・乳幼児健診の機会を生かした相談や家庭訪問、命の感動体験事業の充実、青少年活動の支援などの取り組みを行います。また、農村とニュータウンに住む子育て世帯間の交流など「地域のチカラ」を生かして、身近に寄り添う子育て・おや育て支援を行います。

②誰もが心身とも健やかに暮らせる取組

超高齢社会の急速な進展が見込まれるなか、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるような地域づくりが望まれているため、在宅医療・介護などのネットワークを強化し、地域とともに課題の解決を図ります。その中で認知症や障がいのある方への理解を育みながら、権利擁護・虐待防止・障がい者の自立支援に努めます。また、ウォーキングによる健康づくり事業や地域行事などにおける健康相談、介護予防などに取り組み、健康で生き生きと暮らせるまちをめざします。



交流 共生



3 くらしや地域活動を楽しむまち

①つながりのある地域で暮らせる取組

区民がお互いに支えあい、地域で安心して暮らせるよう、地域福祉活動の充実が求められています。妊娠・出産・子育てから高齢者支援まで、幅広い団体・個人の地域参加を進めるとともに、教育・医療・福祉機関をはじめ、民間事業者など各種団体との連携を図り、つながりのある地域社会づくりに取り組みます。また、日頃の地域見守り活動の枠を日常生活のお手伝いなど一歩踏み込んだ内容に広げるなど、住民同士の支えあい活動の充実を支援します。



②気軽に地域活動に参加できる取組

福祉ニーズが一層多様化するなか、支援を必要とする方が急増しています。明日の西区を担う子どもたちへ、福祉の関心・問題意識を培うため、小中高生に対する福祉教育の推進に努めます。また、地域密着型のボランティア講座や仲間づくりを意識した講座の開催をはじめ、各種市民活動（ボランティア活動、コミュニティビジネスなど）をサポートする講座の情報提供など、中高年層をはじめとした幅広い年齢層の地域参加を支援します。

4 あらゆる人がともにいきいきと過ごせるまち

①さまざまなつながりを生み出す取組

明石川水系や雌岡山などに代表される豊かな自然景観を有する農村部と住宅団地や工業団地が立ち並びニュータウンが共存している区の特徴を活かし、まちの活気を生み出し次代を担う人材を育てるまちづくりに取り組むため、西区みどり太陽のまつりや各地域でのイベント実施などにより、地域や世代を超えての交流を促進します。また、地域の課題解決や魅力アップに取り組むため、大学や企業などが有する人材や技術を活かした事業を進めます。

②まちの魅力を守り育てる取組

各地区で住民の手により守り育てられている獅子舞や布団太鼓などの伝統芸能をはじめとする文化資源の保存・伝承活動を支援します。また、西区に暮らす魅力を感じるとともに、住みたくなるまち、訪れたくなるまちをめざし、ホームページの充実や区内名所を巡る観光ルートの作成、スタンプラリーの開催など、歴史・文化・伝統、豊かな自然環境や農村環境などの多彩な魅力を区の内外へ向けて積極的に発信します。



5 自然とともにこころ豊かに暮らせるまち

①自然や農に親しむ取組

地域主体で活発に展開されている河川愛護活動を支援するとともに、川とふれあう機会づくりや河川愛護意識の向上を図ることで、暮らしの中で川を身近に感じられる環境をつくります。また、人と自然とが共生できる緑豊かで活力ある農村をめざす里づくり事業を支援し、米づくりやサツマイモ掘り、花摘みをはじめとする農業体験などの都市部と農村部の交流事業の実施などに取り組み、農に親しむ機会をつくります。

②居心地のよいまちをつくる取組

西区は花壇苗の栽培など花き農家が多いことから、区内の小学校での西区産の花を使用した花絵花壇づくりなどの飾花活動に取り組み、暮らしの中に花を感じられるまちづくりを進めます。また、各地区でのクリーン作戦を通じて暮らしに身近な地域の美化に取り組むとともに、ごみの減量や資源化を図るためごみの出し方・マナーなどの啓発活動を実施し、日常生活における身近なマナーの向上を図ります。

各事業の役割分担について

安全・安心

1 みんながつくる安全で安心して暮らせるまち



健康・福祉

2 あらゆる人に支援が行きわたるまち



区民が中心となって取り組むもの 行政が中心となって取り組むもの

① 誰もが安心して暮らせる取組

***地域の防犯力の向上**

- 地域の見守り活動の推進
- まちの死角を減らす
- 「KOBE西 安全・あんしんネットワーク」メール配信システムを活用した情報共有
- 区内事業所によるパトロールなどの防犯活動の実施

***交通安全の推進**

- 地域の見守り活動の実施
- 交通安全の意識啓発

***健康危機管理体制の充実**

- 感染予防の普及・啓発
- 感染症の早期探知と対応

② 災害に強いまちをつくる取組

***自主防災力の向上**

- 消防団を中核とした地域防災力の向上
- 講習会・研修会の実施
- 防災訓練の実施
- 災害ボランティアセンターの運営体制整備
- 災害時一人も見逃さない運動の推進

① 子どもの健やかな成長を支える取組

***子育て・おや育て支援**

- 地域による子育て支援の充実
- 発達障がい児への支援
- 妊娠期からの切れ目のない支援
- 命の感動体験(小学校高学年と乳幼児・保護者とのふれあい)
- 地域のチカラで命を育む(農村との交流など「地域の子カラ」を活かした子育て支援)
- 児童虐待の防止

***青少年の健全育成**

- 地域活動への参加の促進
- 青少年を取り巻く環境の整備
- 青少年活動の発表の場づくり

② 誰もが心身とも健やかに暮らせる取組

***中高年齢者の健康づくり**

- 健康づくりイベントの開催・健康メニューの実施
- 大学との連携による事業の推進
- 健康教育・健康相談の実施

***高齢者への支援**

- 地域包括ケアシステムの構築(高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる地域づくり)
- 高齢者の権利擁護・虐待の防止
- 認知症の啓発及び地域の見守り・支え合いネットワークづくり
- 徘徊認知症高齢者などの早期発見

***障がい者への支援**

- 障がい者理解を育む
- 障がい者の主体性を育む
- 障がい者を支えるネットワークの強化
- 障がい者の権利擁護・虐待防止

計画に基づく事業の実施にあたっては、区民と行政がお互いの役割を理解し、協力しながら取り組んでいきます。

3 くらしや地域活動を楽しむまち



交流・共生

4 あらゆる人がともにいきいきと過ごせるまち



5 自然とともにこころ豊かに暮らせるまち



区民が中心となって取り組むもの 行政が中心となって取り組むもの

① つながりのある地域で暮らせる取組

***地域福祉活動の充実**

- さまざまな地域団体の参加による福祉活動の充実
- 地域住民による身近な生活支援の充実

② 気軽に地域活動に参加できる取組

***ボランティアの育成支援**

- 小中高生を対象とした福祉教育の推進
- ボランティアセンターへの登録推進
- 中高年の力、スキルを活かした地域活動の推進

① さまざまなつながりを生み出す取組

***地域間・世代間交流の促進**

- 地域のまつりなど交流イベントの開催
- スポーツイベントの開催

***学校や企業などとの連携促進**

- 地域イベントへ学生の参加促進
- 大学のまちづくり活動への支援
- 産学官民協働による事業の推進

② まちの魅力を守り育てる取組

***地域資源の保存・伝承**

- 伝統芸能の披露や伝承
- ふるさと文化保存活動への支援

***地域資源の魅力発信**

- PR イベントへの参加
- PR イベントの開催
- 各種媒体による情報発信力の強化

① 自然や農に親しむ取組

***身近に感じられる川づくりの推進**

- 川まつりの開催
- 河川愛護団体活動への支援
- 河川敷の利活用

***農村地域の活性化**

- 里づくり計画の策定・実現支援
- 農業体験など交流事業の実施

② 居心地のよいまちをつくる取組

***花のあるまちづくりの推進**

- 西区産の花を活用した飾花活動

***マナーアップの推進**

- クリーン作戦の実施
- マナー啓発活動